

3. 主な除草剤の系統区分一覧（殺菌剤・殺虫剤についてはP. 23参照）

病原菌、害虫、雑草は、化学構造・作用機構等が似た農薬を連続して使用すると薬剤耐性（抵抗性）が発達し、農薬の効果が低下することがある。本表は、主な除草剤を系統別に分類したものである。農薬を選択する際に、系統・作用機構の異なる農薬を取り混ぜて使用することで高い効果を維持できるので、参考として活用されたい。

また、作用機構分類は農薬の有効成分を病害虫に作用する機構ごとに分類する方法で、近年、薬剤耐性（抵抗性）対策のために世界的に使用されている。作用機構分類について詳しくは農薬工業会ホームページを参照されたい。

<https://www.jcpa.or.jp/labo/mechanism.html>

作用型	区分	一般名 ()内は別名	作用機構 分類コード	主な商品名 []内は混合剤
ホルモン型	フェノキシ酸系	シハロホップブチル	1	クリンチャー
		トリクロピル	4	ザイトロンアミン
		フルアジホップ	1	ワンサイド
		MC PA	4	MCP ソーダ塩
		MCP B	4	[マメット SM]
		MCP P (メコプロップ)	4	MCP P
	2, 4-PA (2, 4-D)	4	2, 4-Dアミン塩	
その他の合成除草剤・天然物由来の除草剤	MD BA (ジカンバ)	4	バンベルーD、[ツインカム]	
非ホルモン移行型	アミノ酸系	グリホサート	9	タッチダウン i Q、ラウンドアップマックスロード、[サンダーボルト007]
		グルホシネート	10	バスタ、[クサノンQ]
		グルホシネートP	10	ザクサ
	カーバメート系	エスプロカルブ	15	[スパークスター、フジグラス]
		ビリプチカルブ	0	[アワード、シーゼットフロアブル]
		I P C (クロルプロファム)	23	クロロ I P C
		ベンチオカーブ (チオベンカルブ)	15	[ウルフェース、サターンバアロ]
	ジニトロアニリン系	トリフルラリン	3	トレファノサイド
		ベスロジン (ベンフルラリン)	3	バナフィン
		ペンディメタリン	3	ゴーゴーサン
	アミド系	アシュラム	18	アージラン
アラクロール		15	ラッソー	
カフェンストロール		15	[ウィードレス]	

作用型	区分	一般名 ()内は別名	作用機構 分類コード	主な商品名 []内は混合剤
(非ホルモン移行型)	(アミド系)	プレチラクロール	15	エリジャン、ソルネット、[クサホープD、スパークスター、ワンオール]
	アセト乳酸合成阻害 <small>(ホルモンの他)</small>	イマゾスルフロン	2	[アワード、キチット]
		ベンズスルフロンメチル	2	[ウィードレス、ウルフェース、ザークD、フジグラス]
	アセト乳酸合成阻害 <small>(その他)</small>	ペノキスラム	2	ワイドアタック
	ダイアジン系	ダゾメット	0	ガスタード、バスアミド
		プロマシル	5	ハイパーX
		ペンタゾン	6	バサグラン
		レナシル	5	レンザー
	ピラゾール系	ピラゾキシフェン	27	[ワンオール]
		ピラゾレート(ピラゾリネート)	27	サンバード、[クサホープD]
		ベンゾイルピラゾール	27	アルファード
	トリアジン系	アトラジン	5	ゲザプリムフロアブル、[ゲザノン]
		ジメタメトリン	5	[クサホープD、スパークスター]
		シメトリン	5	[マメットSM、ワンオールS]
		プロメトリン	5	ゲザガード、[サターンバアロ]
		メトリブジン	5	センコル、[クサノンQ]
		CAT(シマジン)	5	シマジン
	尿素系	カルブチレート	5	バックアップ、[ツインカム]
		ダイムロン	0	[アワード、ウィードレス、ザークD]
		テブチウロン	5	ハービック
		リニュロン	5	ロロックス
		DCMU(ジウロン)	5	カーメックスD、ダイロン、[クサノンQ]
	シクロヘキサジオン系	セトキシジム	1	ナブ
	ニトリル系	DBN(ジクロベニル)	29	カソロン
	その他	ブタミホス	3	クレマート、ヒエトップ
		ACN(キノクラミン)	22	モゲトン
型非ホルモン接触	ビピリジリウム系	ジクワット	22	レグロックス、[ブリグロックスL]
		バラコート	22	[ブリグロックスL]
	ニトリル系	アイオキシニル	6	アクチノール
	その他無機系	塩素酸塩	0	クサトールFP、クロレートS、デズレートA
		シアン酸塩	0	シアノット